

東京ミッドタウン「和紙キャンドルガーデン-TOHOKU 2014-」

-多摩大生が 被災地 37 市町村を訪問、約 2,000 人の声を伝えます！-

多摩大学村山貞幸ゼミ「日本大好きプロジェクト」は、平成 26 年 9 月 12 日(金)から、15 日(祝)に開催される東京ミッドタウン(事業者代表 三井不動産株式会社)『和紙キャンドルガーデン-TOHOKU 2014-』の企画・運営を行います。

「伝える」をテーマに東日本大震災から 3 年半経過した被災者の強い想いを広く伝えます。東京ミッドタウンでのイベントは今年で 5 回目。過去 4 回のご来場者は 21,589 名でした。

今年も私たちが被災地を訪問すると、多くの被災者が「忘れられてしまうのではないか」「自分たちの現状を知ってほしい」と切実に訴えられていました。被災者の現状を一人でも多くの人に知っていただきたい、と強く感じ、被災地 37 市町村を歩き、2,000 人の声を集めます。

私たちが心を込めて漉いた和紙に被災者のメッセージを載せ、和紙キャンドルを制作します。それを東北の大学生がデザインした伝書鳩の形に配置し、世界へメッセージを伝えます。今年は東北生活文化大学、東北学院大学、福島大学とコラボレーションしました。イベント当日には、東北の学生に多く来ていただき、生の声をお届けします。



※昨年のメッセージ



※昨年の芝生広場



※東北学生と私たち

【イベント概要】

タイトル : 『和紙キャンドルガーデン-TOHOKU 2014-』

期 間 : 平成 26 年 9 月 12 日(金)～15 日(月・祝) ※入場無料

* プレスディ 平成 26 年 9 月 11 日(木) 17 時～20 時
15 時 メディア受付開始
16 時 キャンドル点灯開始 ※雨天決行
17 時 キャンドル点灯完了 ※荒天中止

時 間 : 17 時～21 時 ※雨天・荒天中止
会 場 : 東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン芝生広場 他
主 催 : 東京ミッドタウン
企 画 : 多摩大学村山貞幸ゼミ「日本大好きプロジェクト」
協 力 : カメヤマキャンドルハウス

※開催期間中、いつでもご取材いただけます。

「日本大好きプロジェクト」とは

平成 20 年 9 月より日本の伝統文化を伝承してゆく活動を始め、平成 26 年 7 月現在、幼稚園・保育園・児童館・その他高齢者施設などで、通算 1332 回(年 200 回以上)の訪問型イベント(平成 26 年度伝統文化親子教室事業文化庁助成)を実施させていただきました。日本の伝統文化に数多く触れていただくことで、多くの人々に日本を深く理解し、心から「大好き」になっていただくことを目指しています。

イベント内容: 紙漉き、藍染、三曲、影絵、狂言、紙芝居、空手、剣道、茶道、書道、将棋、鼓、ちぎり絵、水墨画、折り紙、投扇興、俳句かるた、竹鉄砲、扇子作り、浮世絵

イベント実績: 東京ミッドタウン(2010 年～2013 年)、二子玉川ライズ(2011 年～2013 年)、増上寺(2009 年～2014) 他

【イベントに関するお問い合わせ先】

【広報担当】

井上 梨名 TEL: 080-6519-6252

Mail: npj.inoue@gmail.com

小西 真奈美 TEL: 080-3396-2308

Mail: npj.konishi@gmail.com

【教授】

村山 貞幸 TEL: 090-7844-0788

Mail: sadayuki.murayama@gmail.com



【エリア詳細】

和紙キャンドルは、芝生広場、キャンドルロード、水辺エリアの3つのエリアに展開されます。

キャンドルに使われている和紙は、我々学生が一枚一枚心を込めて漉いたもので、全体で約4,300枚を使用しております。



※エリアイメージ図

■芝生広場

メインエリアとなる芝生広場の和紙キャンドルは約2,800個使われており配置デザインは、東日本大震災を経験した東北生活文化大学の学生4人によって作成されました。中心に描かれる鳩を伝書鳩に見立て、東北の想いを伝えます。また鳩を囲んでいる模様は、日本伝統文様である「七宝」であり1つの七宝が陸前高田市、石巻市、飯舘村と訪問した市町村を表しています。原発の影響で立ち入り禁止となった福島県の5市町村はいつかメッセージが書かれていることを願い、無地の和紙で表現しています。

東日本大震災から3年半が経過した東北42市町村の方々の想いを伝書鳩にのせて東京から日本中に、世界中に伝えます。

■ロード

外苑東通りから和紙キャンドルガーデンへと続く道に約1,500個和紙キャンドルを並べます。

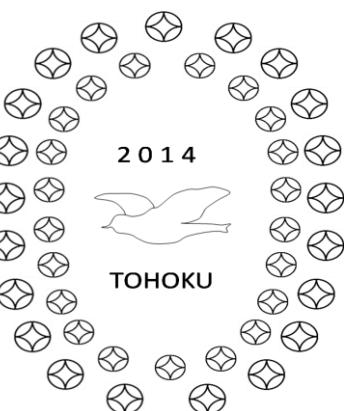
■水辺エリア

各県の旗の色で丸い和紙を42個並べ、県旗を象徴します。

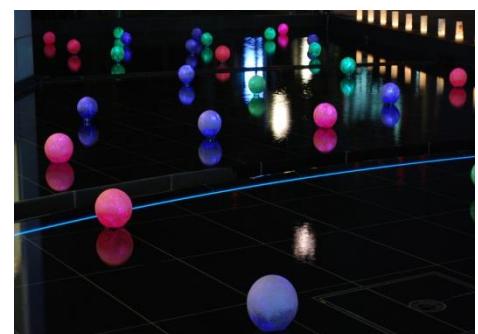
【伝えるコミュニケーション】

日本大好きプロジェクトが運営するFacebookなどのSNSを通して、イベントの準備、東北訪問の様子などの制作過程、イベント当日の様子などを報告します。東北の想い、私たちも伝えます!!

URL : <https://www.facebook.com/npjtohoku>



※配置デザインイメージ図



※水辺エリア イメージ



村山ゼミQRコード

